

生徒数495名

風は未来を 6月号

「前向きに実践できる、みんなが元気な長野中」

長中生の活躍

長中生は様々な場所で活躍しています。その一端を紹介します。なお、他の中体連等の表彰は次号以降に掲載いたします。

陸上

6月7日(金)・8日(土)、第59回全日本中学校通信陸上埼玉県大会が開かれ、**五十幡亮汰君**(3年)が100m・200mで優勝。五十幡君は全国大会参加標準記録も突破し、**全国大会に出場**することになりました。大会は、8月に愛知県で行われます。

▽100m第1位 11秒04(予選タイム11秒03)

▽200m第1位 22秒51(予選タイム22秒48)



野球部



第8回行田市中学校野球選手権大会が開かれ、本校野球部が**昨年に続き優勝**しました。

▽準決勝 長野中 7-0 埼玉中

▽決勝 長野中 9-0 忍中

なお、最優秀選手賞は山下和音投手、首位打者賞は遊佐宏外野手(打率5割)。

花岡雅樹キャプテンは、

「連覇できてうれしい。ピッチャーがいいボールを投げ、バッターも強い打球を打てたのが勝因」と喜びとともに大会を振り返っていました。

ボランティア活動(まきば園第14期生)



平成12年から本校は、特別養護老人ホーム「まきば園」を訪問しています。今年で14年目になりました。参加した生徒は、入所者と1年間かかわる「お話隊」と、施設のお手伝いをする「おそうじ隊」に分かれ、お年寄りとおふれあっています。

3年間まきば園ボランティアに参加している湯沢広夢君

僕は、まきば園訪問を3年間続けてたくさんのお話を学びました。お年寄りとお話をし、いろいろなことを教えていただき良かったと思うことがたくさんありました。この経験を生かして、これからの生活で良いコミュニケーションをとっていきたいです。まきば園訪問という長野中の良い伝統を後輩たちにしっかり受け継いでいってほしいと思います。

朝会(6月8日)校長講話より(抜粋)

【Line(ライン)について】

『中学1年生の女子Aさんは、仲のいい友達4人とLineのグループを作り、毎日いろんな事をLine上で話していたそうです。そのLineグループに最近Bさんが入ってきました。AさんとBさんは特に仲がいいというわけではありませんでした。Aさんは、ある日、Lineに先輩の悪口を書きました。そしたら、Bさんはその話を先輩にしまいました。Aさんは先輩から呼び出しを受けてかなり怒られました。』*他市の事例

▽Aさんの問題点

人の悪口を言うことは感心できません。余り親しくない人がいる前で皆さんは他の人の悪口を言えますか? なぜ、Lineだとそんなに簡単に書き込めるのでしょうか。あなたが言った悪口はすぐ広まってしまうのに・・・

▲Bさんの問題点

自分には関係がないのに告げ口をする人は、人のトラブルをおもしろがる人です。大人では決して信用されない人です。あなたがいないところでは、平気であなたの悪口を言いふらすかもしれません。

Lineは、若い人を中心に爆発的に流行しているインターネットツール(道具)です。しかし、Lineのトラブルは決して少なくはありません。長中生はどうでしょうか? 大丈夫ですか? 大事なことは、皆の前で言葉で言えないようなことは書き込まないことです。自分の言葉には責任を持つことです。Lineは便利な道具かもしれませんが、道具に振り回されてはいけません。節度を持って使用しなければ、人を傷つける恐ろしい道具になってしまいます。

